

令和2年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

氏名	大野 崇	活動年数	2年
活動目標	<p>① 北海道におけるブドウ栽培の知識、技術の取得</p> <p>② 土地の取得</p> <p>③ ワインだけに限らず、仁木町内での課題を見つけ解決策を提案する。</p>		
活動内容	<p>①：1年目はより多くのワイナリーを見させてもらいましたが、2年目はル・レーヴ・ワイナリーの本間さんのところで殆どの時間を過ごさせていただきました。本間さんのところはワイナリー稼働1年目ということもあり、自身がワイナリーをオープンする際の参考になる点が多く、非常に勉強になりました。</p> <p>②：2年目も1年目同様に土地探しをしておりましたが、役場内でのトラブルにも見舞われ自身が納得する土地を見つけ購入することはできませんでした。3年目はもう少し視野を広くもって、妥協できる点は妥協しながら積極的に様々な土地を見にいきたいと思います。自分自身に合う土地を探していきたいと思います。</p> <p>③：コロナの影響もあり、思った以上に活動に制限がかかる年となりました。そのため昨年のように③に関しては精力的に活動できなかったのが悔やまれます。しかし昨年の販売したセミドライトマトに関して「今年はないの?」という問い合わせも多くいただくことができました。昨年行動したことが多くのお客様に喜んでいただけたということは非常に嬉しく思っております。</p> <p>※左：今年仕込みをした収穫したばかりのブドウ。右：広島研修の集合写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

自己評価	<p>コロナの影響もあり、色々なモノを見に行っただけ勉強したりというのはなかなかできませんでしたが、その分1つの場所で1年を通して勉強することができました。特にワイナリー稼働1年目の本間さんのところで経験したものは非常に大きいと感じております。</p> <p>また本間さんの推薦もあり、冬の間には広島に約1ヶ月間醸造研修にもいくことができたことで栽培・醸造知識のインプットが多くできた年でした。</p>
抱負	<p>協力隊終了して北海道というエリアから出ていくわけではないので、定住のためにできることを1つずつやっています。</p>
その他	